

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【公開番号】特開2003-30016(P2003-30016A)

【公開日】平成15年1月31日(2003.1.31)

【出願番号】特願2001-210144(P2001-210144)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 12/00

G 06 F 3/00

G 06 F 13/00

【F I】

G 06 F 12/00 5 1 1 C

G 06 F 3/00 6 5 1 A

G 06 F 13/00 5 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月12日(2004.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数システム間でデータを授受するデータ変換規則を抽出するデータ変換方法において、前記複数システム間で定義された共通のデータ項目を用いて、前記複数システム間でデータ受け渡しを行うデータ項目をシステム連携情報として記憶し、

前記システム及び前記の共通データ項目ごとに定義された変換規則を変換規則情報として記憶し、

前記記憶されたシステム連携情報をもとに、前記記憶された変換規則の中から所定の変換規則を抽出することを特徴とするデータ変換方法。

【請求項2】

前記データ変換方法はさらに、

前記抽出された変換規則を実行する実行ファイルを生成し、

前記記憶された変換規則が変更された場合、該変更前の変換規則によって実行ファイルが生成されているか否かを判断し、

実行ファイルが生成されている場合、該変更後の変換規則を実行する実行ファイルを再生成することを特徴とする請求項1記載のデータ変換方法。

【請求項3】

前記システム連携情報は、

システム連携を識別するシステム連携名、該システム連携において受け渡すデータ項目を表す共通データ項目名、該共通データの受け渡しを行うシステムとなるシステム名、及び該システムの受け渡し元となるか受け渡し先となるかを示す入出力種別を含むことを特徴とする請求項1記載のデータ変換方法。

【請求項4】

前記変換規則情報は、

変換規則を識別する変換規則名、該変換規則において利用されるシステムのシステム名、該システムにて入力または出力されるデータ項目から変換される共通データ項目名、該システムにおける該共通データ項目の入力または出力の種別を示す入出力種別、及び該変換

規則を実行する変換規則実行ファイルを含むことを特徴とする請求項1記載のデータ変換方法。

【請求項5】

前記データ変換方法は、

システム連携名入力欄、入力システム名入力欄、出力システム名入力欄、および共通データ項目入力欄を表示し、

前記システム連携情報は、前記表示された各入力欄に入力された情報によってシステム連携可能である場合に、前記入力された情報に従って定義されることを特徴とする請求項1記載のデータ変換方法。

【請求項6】

前記変換規則の抽出は、

前記システム連携情報に含まれるシステム連携名に対して定義されている共通データ項目名、システム名、及び入出力種別の組合せを取得し、

該組合せに基づいて、前記記憶されている変換規則情報の中から変換規則を抽出することを特徴とする請求項1記載のデータ変換方法。

【請求項7】

複数のシステム間でデータを授受する際に用いるデータ変換規則を抽出するデータ変換システムにおいて、

前記複数のシステム間における共通のデータ項目を定義する共通データ項目定義部と、該定義された共通のデータ項目を記憶する共通データ項目情報記憶部と、

該記憶された共通データ項目情報をもとに、前記複数のシステム間のシステム連携を定義するシステム連携定義部と、

該定義されたシステム連携を記憶するシステム連携情報記憶部と、

前記複数のシステム内のあるシステムにおいて入力されるデータ項目または出力されるデータ項目を定義するシステム入出力データ項目定義部と、

前記共通データ項目と前記システム入出力データ項目との間の変換規則を定義する変換規則定義部と、

該定義された変換規則を記憶する変換規則記憶部と、

前記システム連携情報に基づいて、前記変換規則記憶部に記憶された変換規則の中から所定の変換規則を抽出する変換規則抽出部を備えることを特徴とするデータ変換システム。

【請求項8】

複数システム間のデータ変換規則を抽出するデータ変換システムにおいて、コンピュータで実行されるプログラムを格納するコンピュータ読み取可能な記憶媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数システム間で定義された共通のデータ項目を用いて、前記複数システム間でデータ受け渡しを行うデータ項目をシステム連携情報として記憶し、

前記システム及び前記の共通データ項目ごとに定義された変換規則を変換規則情報として記憶し、

前記記憶されたシステム連携情報をもとに、前記記憶された変換規則の中から所定の変換規則を抽出し、

前記抽出された変換規則を実行する実行ファイルを生成することを特徴とする記憶媒体。